

【お客様へ】

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当商品の取付、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。安全に正しく装着していただくために、装着作業前にこの取付・取扱説明書を最後までお読みいただき、装着上の注意事項などについて十分にご理解の上、正しく取付・取り扱いいただきますようお願いいたします。

【品番・適合車種】

| 部品番号 | | 適応車種 | 型式 | 年式 | 備考 |
|-------------|------|----------------|------|----------|----|
| CRS-4101-04 | センター | ハイエース 標準ボディ | 200系 | 2004年8月～ | |

【構成部品】 ※作業をはじめる前に構成部品がそろっているか確認してください。

<センターセット>

| No. | 部品名 | 数量 | No. | 部品名 | 数量 |
|-----|--|----|-----|--|----|
| ① | モーションコントロール ビーム本体  | 1 | ② | ブラケット R  | 1 |
| ③ | ブラケット L  | 1 | ④ | サポート R  | 1 |
| ⑤ | サポート L  | 1 | ⑥ | フランジボルト M10×35  | 2 |
| ⑦ | フランジナット M10  | 2 | ⑧ | フランジボルト M8×16  | 5 |
| ⑨ | フランジナット M8  | 5 | ⑩ | ワッシャー M14  | 2 |
| ⑪ | 取付・取扱説明書  | 1 | | | |

【取付・ご使用前に必ずお読みください】

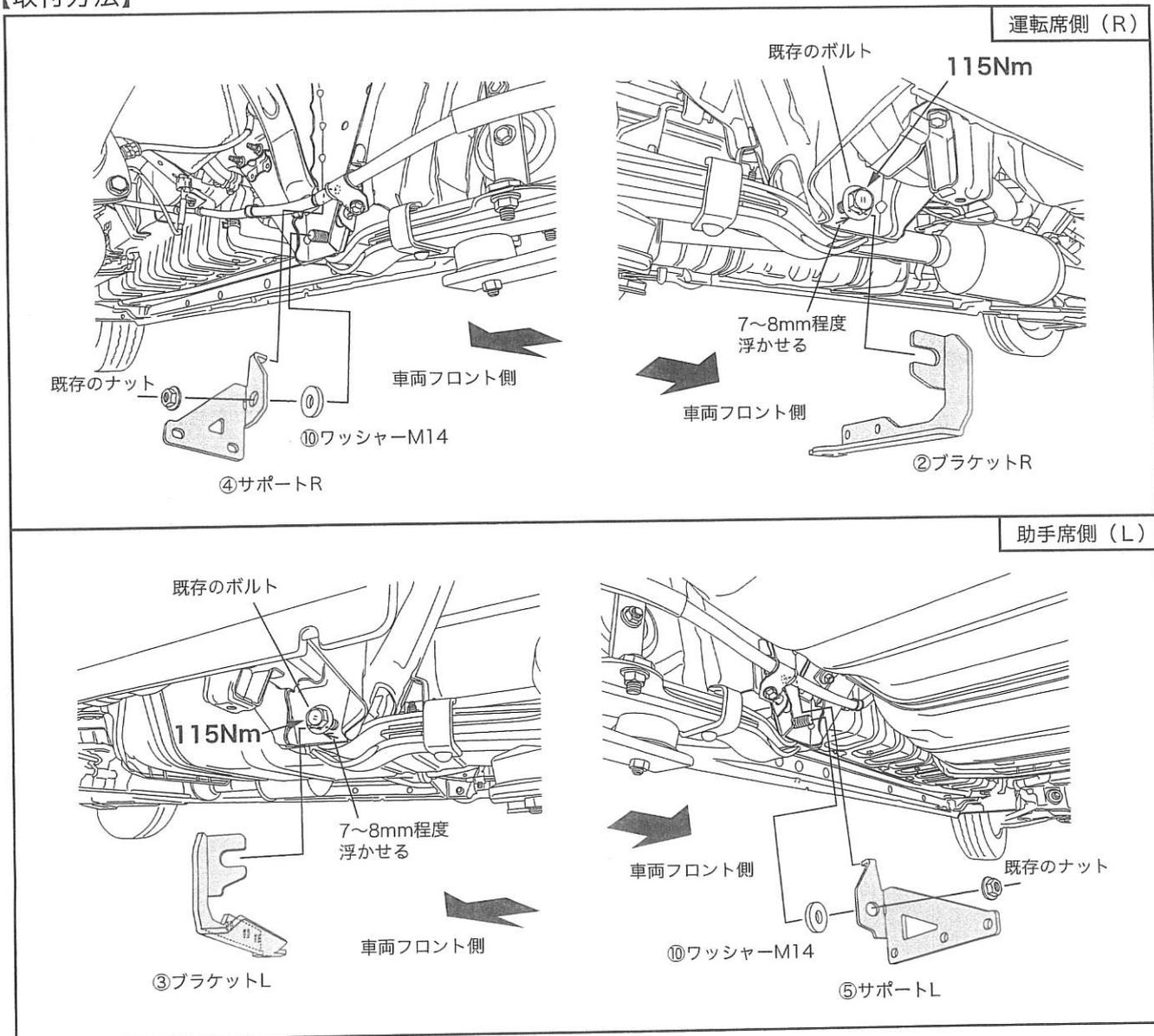
警告

- 本製品の車体への組み付けは、必ず資格のある認証工場で行ってください。
- 車種別設計になっておりますので、適応車種以外の車両には絶対に使用しないでください。
- 本製品を改造しての取付は絶対に行なわないでください。
- お客様、または第三者がこの製品の誤った取り付け、取り扱いによって受けられたいかなる損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 自動車の安全な整備は、使用者の法的責任です。定期点検整備は、安全性と公害防止を図るうえで必要不可欠です。日常点検はもとより、定期点検や定期部品交換は必ず実施してください。
- 本製品、付属品を含め、改良のため予告なく変更する場合があります。

注意

- 日常点検を行い、定期的ねじ部の緩みが無いか確認してください。ねじ部に緩みがありますと異音、干涉事故、けが等の原因となります。
- 異常、異音、損傷等がある場合は、速やかに車両から外してご使用を中止してください。
- この取付・取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。
また、本製品を譲渡する場合は、本書を必ずお渡しください。
- 取り付け後のキズまたは経年変化による機能上のクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。
また、取り付け不良、違法改造車両への取り付け、もしくは日常点検を怠ったために発生した破損、事故等につきましては弊社は一切の責任を負いません。
- 取付作業の前に装着車種と適合しているかどうか確認してください。
- 落下させる等の乱暴な扱いは絶対に避けてください。
- 作業の際は、エンジンを停止させ、パーキングブレーキをかけ、車両が確実に固定されていることを確認してから作業を行ってください。
- 取付後は全てのナットやボルト等のネジ類が整備手順要領に従って正常に締め付けられているか、また、本製品と車体側の部品が接触していないか等、十分に確認してください。

【取付方法】



<センターの取り付け>

1. 図を参照して、リアリーフスプリング前端を固定する既存のボルト/ナット左右各1組を緩め、ナットをボルトから取り外してください。更にボルトを少しだけ引き抜き、車両サブフレームからボルトの頭が7~8mm程度浮いた状態にしてください。

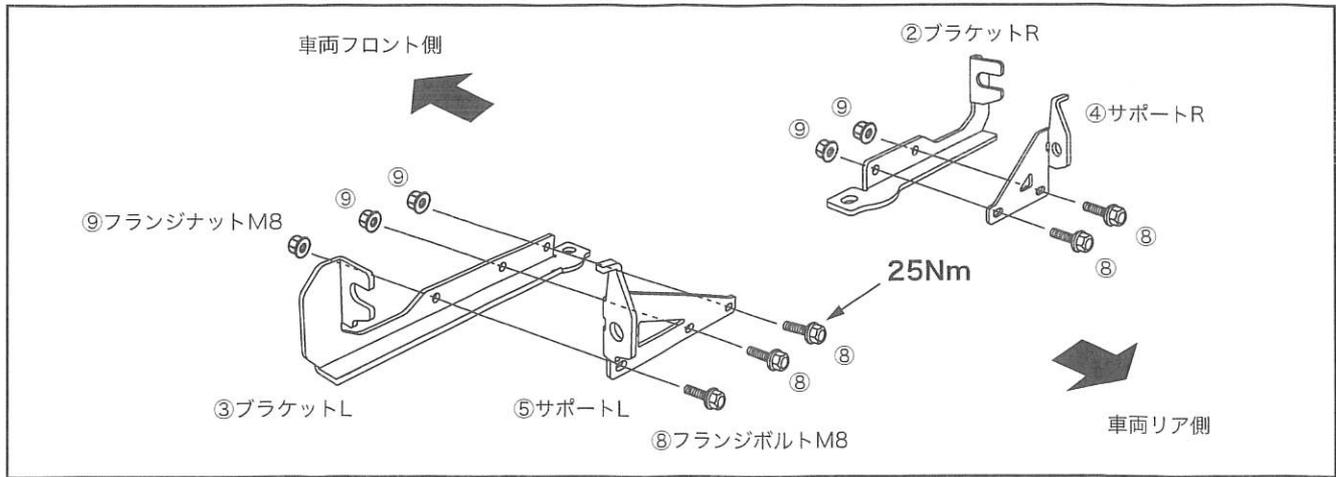
△注意

- 車軸に車重が乗った状態では、ボルトが動き難いため、懸架式リフトでボルトに荷重がかからない状態で、作業を行ってください。
- ボルトを完全に引き抜くとリーフスプリングが脱落するので、ボルトの引き抜きは必要最低限にしてください。

2. (1)で浮かせた車両外側のボルトの頭に、左右それぞれ②ブラケットRと③ブラケットLの切り欠きを通して装着し、ボルトを押し戻してください。
3. (2)で押し戻した車両ボルトに左右それぞれ⑩ワッシャーM14を通し、その後④サポートRと⑤サポートLの穴を通して、(1)で取り外したナットで仮固定してください。

△注意

- ⑩ワッシャーM14は車両取付面の不均一の影響を回避するために使用します。車両サブフレームと④⑤サポートR/Lの間に挟んで使用してください。



4. 図を参照して、⑧フランジボルトM8と⑨フランジナットM8で、②ブラケットRと④サポートR、および③ブラケットLと⑤サポートLをそれぞれ仮固定してください。

5. ブラケットおよびサポートの全ての締結面が完全に密着するように位置関係を微調整しながら、以下の順序で締めつけてください。

順序1 リアリーフスプリングを固定する車両ボルト/ナットをごく軽く締めつけてください。

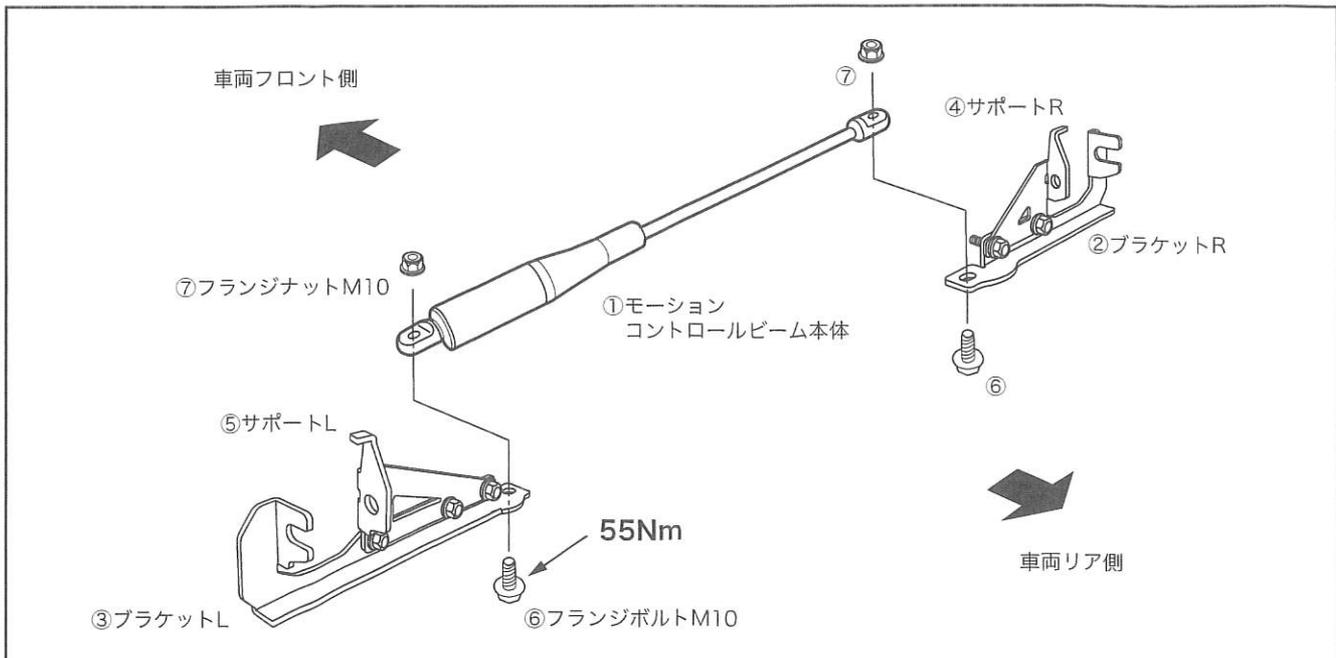
順序2 ブラケットとサポートを固定するM8ボルト/ナットを全て締めつけてから一旦緩めて、再度ごく軽く締めつけてください。

順序3 リアリーフスプリングを固定する車両ボルト/ナット（前頁参照）を指定トルクで締めつけてください。

車両ボルト/ナット：115Nm

順序4 ブラケットとサポートを固定するM8ボルト/ナットを全て一旦少し緩めてから、改めて指定トルクで締めつけてください。

M8ボルト/ナット：25Nm



6. 車両を接地させ、1G状態で①モーションコントロールビーム両端の⑥フランジボルトM10と⑦フランジナットM10を確実に固定してください。（締付トルク：55Nm）

注意

- 取付終了後に各固定部に緩み等がないか確認してください。
- 車両部品との干渉、挟み込み等がないか確認してください。